

●受難節第四主日

泉のほとり

今月の詩編「第二十六編」

主よ、あなたの救いを望みます。

わたしは完全な道を歩いてきました。

主に信頼して、ゆるめられたことはありません。

主よ、わたしを調べ、試み

はらわたと心を火をもって試してください。



自分を捨てて

主イエスを信じる時に大切なことがあります。

それは、洗礼を受けることです。洗礼はもともと、体全身を水に沈めていました。ずっと水に沈んだままだと、人間は死んでしまいます。でも、そうやって自分の体も心も捨てて死ぬときに、初めてわたしたちは主イエスと一つになることができるのです。主と一つになるので、洗礼を受けた人は、主と同じことを考えて、主と同じこととして生きるようになるのです。

ペトロが初めて主イエスのことを、あなたは神からのメシアですと言って信仰を告白した後、主イエスも初めて、神からのメシアがどういう方なのかを教えてくださいました。それは、必ず人々から苦しめられ、捨てられ、殺される。でもそこで、神さまが主イエスを甦らせてくださる。これがわたしたちの救い主、神からのメシアです。

そして、主イエスはこう話されました。「わたしについて来たい者は、自分を捨て、日々、自分の十字架を背負って、わたしに従いなさい」。わたしがあなたたちのために苦しみを受け殺されるように、あなたたちも自分を捨てて、毎日、自分の十字架を背負いなさい。

だいたい前のことですが、教会員のご婦人に、葬儀で讃美歌を歌ってほしいとお願いをされたことがあります。「主のために我は生きる」という讃美歌でした。「主のために我は生きる、

御心を求めつつ、一筋に仕えなば、恵み得る道と知れ」。若い時にこの讃美歌に出会って、それからいつも、主のために生きること大切にしてこられたそうです。

この方が晩年、病気になるって入院された時、家族も病院も本当に驚いたそうです。こんなにたくさんの方がお見舞いに来た人は今までいなかったと。どうしてそんなにたくさんの方がこの方に会いに来られたのでしょうか。わたしは、この人が主のために生きたからだと思うのです。いつも自分の思いばかり大切に、自分の好きな人とだけ生きていたら、こんなにたくさんの方が来ることはなかったと思います。どんなに悪口を言われても、主イエスのため、この人もまた主イエスが愛して死んでくださった人だと思つて、主イエスの心を自分の心にして、主イエスが仕えたようにその人に仕えて生きたのです。

自分を捨てる、日々、自分の十字架を背負う。それは、主のために生きることです。自分のやりたいことばかりして、自分の好きな人とだけ生きるのではなくて、そうやって自分のためにだけ生きている自分を捨てて、主イエスのために、主のように生きるとき、初めて、自分も人も本当に生きることができると、初めて、主イエスがわたしたちのために命を捨ててくださったので、わたしたちは生きることができるようになりました。主のために自分を捨てること、神さまは命を与えてくださいます。

（ルカ九・一八〜二七）

試み

なぜなら神が我らに与えられたのは、恐れのお霊ではなく力と愛と鍛錬のお霊だからです。

テモテへの手紙2 一章七節

もろもろの不安が、わたしたちへ

鳥のように飛んできて

わたしたちの中に巣を作ろうとするとき

聖霊よ、わたしたちは

あなたのもとに逃れます。

あなたはすでに

わたしたちと共にいてくださいます。

わたしたちが洗礼によって

あなたの中に入れられてから。

あなたはわたしたちを強くし、

愛する能力を与えてくださいます。

わたしたちが愛せない

そのところにおいても。

あなたはわたしたちを導き

訓練してくださいます。

あなたの教会を建てるために

今日この日も。

わたしたちがしなくてよいことを

お示しください。

わたしたちがなさねばならないことを

お示しください。

神は仕える者たちを力の霊によって治められる。これは恐れとは真逆のものである。それゆえ、怠惰に放置しておいてはならず、信頼と意欲をもってこの霊を用い、行為を通して世にあまねく知らしめねばならない。

カルヴァンの言葉

R・ポレン著 「祈る」より

祈りは楠原博行氏の訳による

今日のお知らせ

○第一礼拝後、教会学校と並行して、ロビーでコーヒーサービスがあります。園舎二階のリズム室では、ぶどうの会が開かれ、礼拝で受けた恵みの分かち合いをします。

○第二礼拝後ホールで讚美と報告の会をします。お昼のお弁当です。

○昼食後、レント感想発表の会をホールで行います。教会員が一年間に受けた恵みの証しをします。どなたでもご参加ください。

○感想発表の会の後、臨時の役員会をカナルームで行います。今年度の役員はお集りください。

○今年の八月一日(木)と五日(月)、姉妹教会のコイノニアキャンプが品川教会で行われます。先週、その案内と申し込み用紙を伏差しに配布しましたが、申込用紙に不備がありましたので、作り直して、四月一四日に改めて配布します。まだ申し込みはなさらないようお願いいたします。

新年度役員会の体制

二十一日の役員組織会で、新年度の役員会の体制が左記の通りに決まりました。

●運営委員会

書記 山名弘史
 副書記 石川 一
 財務 山下純一
 副財務 神山宜紀

●礼拝伝道委員会

井手希宜
 大友初枝
 楠 浩介
 杉山 博

●藤本敦三

*礼拝班 *音楽班 *聖書の夕べ *礼拝受付
 *朝の聖書の会 *ぶどうの会 *讃美と祈り
 *結婚式班

●教育奉仕委員会

荒美 俊三
 野中 君子
 日比野 靖子
 三澤 えり子
 三澤 茂夫
 *教会学校 *青年会 *愛餐会
 *ダイアコニアショップ

聖書の会

●今学期は終了致しました。
 来学期は、4月10日(水)
 から始まります。

次週礼拝

●第一礼拝 (午前9時30分)
 讃美歌 讃21 299番 讃21 393番
 説教 神が望まれること
 聖書 ルカ20章9〜19節
 説教者 吉村和雄 牧師

●第二礼拝 (午前11時10分)
 讃美歌 140番 357番
 詩篇 41篇
 説教 だれが偉大か
 聖書 マタイ11章1〜19節
 説教者 黄允湜 副牧師



第一礼拝 (午前9時30分)

讃美歌 II 59

II 78

説教 「闇夜に輝く光」

聖書 ルカ9章28節～36節(新約P123)

司式 宮間 彰広 兄 聖餐司式 吉村和雄 牧師

説教者 菊池 美穂子 副牧師

前奏曲「イエス、我が信頼」 J.S.バッハ

○ II 59 「すべてのもの統らすかみよ」

1. すべてのもの統らすかみよ

み^なを^たたえ^ほめ^うた^ささ^ぐ

み^めぐ^みゆ^たけ^く 止^せ義^ぎみ^つる

か^みこ^そわ^れら^の盾^{たて}、^また^巖

2. よろこびもてささげまつる

う^たは^たか^く み^くら^にと^どき

も^のみ^など^よみ^て こ^たえ^うた^わん

「か^みに^ぞみ^さか^え と^きわ^にあ^れ」と

3. わが主イエスにしたがいゆき

こ^ころ^ひく^く 日^あて^はた^かく

こ^の世^にわ^が主^のみ^目の^なる

そ^の日^をの^ぞみ^て わ^れら^いそ^しま^ん アーメン

○ ピアノによる讃美

「アリア 第三変奏」 J.S.バッハ

ゴルトベルク変奏曲より

○ II 78 「イエスさまが教会を」

1. イエスさまが教会を この世から選びとり

あ^たら^しい^契約^を た^てら^れた^日の^よう^に

き^よう^もま^た主^の前^に家^族み^なあ^つま^つて

み^めぐ^みに^結ば^れた^この^家を^ささ^げま^す

2. 神さまを父と呼び イエスさまを主とあがめ

み^言葉^の種^をう^け み^教え^の水^をの^み

い^つの^日も^愛し^合い い^つの^夜も^助け^合う

こ^の家^のさ^いわ^いを こ^ころ^から^祈り^ます

3. 羊のみ手に守られて みなともに成長し

こ^ども^らが^この^家を^集立^ちゆ^く そ^の日^にも

第二礼拝 (午前11時10分)

讃美歌 139番 338番

詩篇 第26編(旧約P856)

説教 「信仰による義に基づいて」

聖書 ローマ4章13節～17節(新約P278)

司式 宮間 彰広 兄

説教者・聖餐司式 吉村和雄 牧師

前奏曲「遂に遂にわがくびきから」 J.S.バッハ

カンタータ56番より

○ 讃美歌 139番

○ ピアノによる讃美

「アリア 第三変奏」 J.S.バッハ

ゴルトベルク変奏曲より

○ 聖歌隊による讃美

「愛するイエス」

愛するイエス 何をなされて

こ^んな^さば^き 受^けら^れた^か

ど^んな^罪を お^かさ^れた^のか 愛する主は

む^ち打^たれ 茨^の冠

か^ぶせ^られ さ^げす^まれた

酸^いぶ^どう^酒 十^字架^の上^で 口^にさ^れた

羊^飼いは 羊^のた^めに

そ^の命^を あ^えて^捨て^る

正^しい^主が し^もべ^のた^めに 罪^を担^う

な^んと^深い 主^のみ^心よ

な^んと^広い イエス^の愛^よ

責^め苦^の道 歩^まれた^のは 私^のた^め

○ 讃美歌 338番

聖餐曲「おお汚れなき神の子羊」 M.レガー

後奏曲「フーガハ短調」 F.メンデルズゾーン

愛の羊よ みすくいの よろこびをあかして

かぎりなくみこころに そうものとしてください

アーメン

聖餐曲「わがよろこび」 D.ワグネル編

後奏曲「フーガニ短調」 F.メンデルズゾーン

